

## 来賓挨拶

厚生労働省 大臣官房 技術総括審議官

三浦 公嗣

(厚生労働大臣 田村 憲久氏 挨拶代読)

厚生労働省技術総括審議官 三浦でございます。

本来でしたら田村厚生労働大臣がこちらに伺ってご挨拶を申し上げるところですが、所用があり参加することができません。代わりに祝辞を預かっておりますので、これを代読いたします。

「第20回ヘルスリサーチフォーラムの開催にあたり、一言ご挨拶いたします。

少子高齢化の進展、疾病構造の変化、国民ニーズの多様化・高度化など、近年保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しております。疾病の予防・診断治療や地域ケアなどを含めた保健医療福祉システムを整備する上でも、現状を的確に把握した対応が求められているところです。

厚生労働省といたしましても、これまで保健・医療・福祉に関する各種施策を推進すると共に、これらの施策を充実させるための科学技術の振興に積極的に取り組んでいるところでありますが、この6月には健康医療戦略が関係大臣の申し合わせにより決定し、より質の高い医療の提供を通じた健康寿命の延伸に向けた取り組みを、政府一丸となって実行しているところです。

こうした中でファイザーヘルスリサーチ振興財団は、研究助成・提言・研究者の育成等を通じて20年余りに亘ってヘルスリサーチ領域の研究の振興にご尽力され、国民のクオリティー・オブ・ライフの向上に大きく貢献されてきました。

本フォーラムも、国民に成果を広く提供し、これに携わる多くの研究者が一同に会する機会であり、大変意義深い取り組みであると考えております。

本フォーラムが今回で20回目を迎えたということは、関係者の方々のひとかたならぬご尽力の賜であり、深く敬意を表しますとともに、今後とも本フォーラムを通じて研究交流がさらに進むことを期待いたします。

貴財団のますますのご発展と本日お集まりの皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

平成25年11月30日 厚生労働大臣 田村憲久」

代読でございます。

本日は誠におめでとうございます。